

# I. 平成 17 年度事業報告書

(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

## I. 財団の管理・運営

### 会議の開催

#### 第 21 回理事会 (平成 17 年 6 月 17 日)

評議員の選出(欠員補充 1 名)について審議の結果、小山哲郎氏が選出され承認されました。平成 16 年度事業報告及び収支決算報告が承認されました。

#### 第 21 回評議員会 (平成 17 年 6 月 17 日)

監事の選任(欠員補充 2 名)について審議の結果、磯部正昭氏、亀山晴信氏が選任され承認されました。平成 16 年度事業報告及び収支決算報告が承認されました。

#### 第 22 回理事会 (平成 18 年 3 月 22 日)

評議員の任期満了に伴う選出について審議の結果、評議員 14 名(任期 平成 18 年 4 月 1 日～20 年 3 月 31 日)が選出され承認されました。選考委員会委員の任期満了に伴う選出について審議の結果、選考委員会委員 4 名(任期 平成 18 年 4 月 1 日～20 年 3 月 31 日)が選出され承認されました。平成 18 年度事業計画及び収支予算、平成 18 年度奨学生 30 名等が承認されました。

#### 第 22 回評議員会 (平成 18 年 3 月 22 日)

理事及び監事の任期満了に伴う選任について審議の結果、理事 13 名及び監事 2 名(任期 平成 18 年 4 月 1 日～20 年 3 月 31 日)が選任され承認されました。平成 18 年度事業計画及び収支予算、平成 18 年度奨学生 30 名等が承認されました。

#### 臨時理事会 (開催通知発出 平成 17 年 10 月 1 日、議事採決 平成 17 年 10 月 11 日)

(株)セラピストアーツから、「日新アカデミー日本語学校の営業権」及び「東京セラピストアーツの認定資格取得機関の営業権」を受入れ、当財団に「教育事業部」を開設すること並びに「事業費として扱える」(株)共立メンテナンス増株分(214,950 株)の一部(50,000 株)を売却することが承認されました。

#### 第 13 回選考委員会 (平成 18 年 2 月 23 日)

奨学金対象校から推薦のあった平成 18 年度奨学生候補者 463 名((財)共立国際交流奨学財団奨学金 259 名、(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 204 名)及び現地(大韓民国)奨学生候補者(7 名)について、審査の結果、(財)共立国際交流奨学財団奨学金 15 名(うち現地(大韓民国)採用 3 名)及び(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 15 名(うち現地(大韓民国)採用 4 名)の合計 30 名(うち現地(大韓民国)採用 7 名)を平成 18 年度奨学生候補者として選考しました。

## Ⅱ．奨学金支給事業

### 留学生奨学金の支給

平成 16 年度（財）共立国際交流奨学財団奨学金 15 名及び平成 17 年度（財）共立国際交流奨学財団奨学金 15 名、（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金 15 名、10 周年記念財団奨学金 15 名 合計 60 名に平成 17 年 4 月から平成 18 年 3 月まで、奨学金（（財）共立国際交流奨学財団奨学金 月額 10 万円・期間 2 年間、（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金・10 周年記念財団奨学金 月額 6 万円・期間 1 年間）を支給しました。

現地奨学金を、ベトナム 9 名、ミャンマー 2 名、ラオス 1 名 計 12 名に支給しました。

## Ⅲ．寄附金募金事業

企業 1 社（株）共立メンテナンスを除く）及び個人 5 名（現地奨学金 5 名）からの寄附金を受け入れました。

## Ⅳ．国際交流支援事業

### 1．研修会の開催

奨学生を中心として、一般学生（留学生、日本人学生）も参加し、相互理解と国際親善・交流を促進するための研修会を実施し、訪問地におけるホームステイ、史跡・歴史的建造物見学、ディスカッション等を通して、日本の文化、歴史、自然についても理解を深めました。

#### <各研修会報告>

##### 第 26 回研修会

開催地：京都

開催期間：平成 17 年 6 月 11 日～13 日

参加者：30 名（財団奨学生）

##### 第 27 回研修会

主催：（財）北海道国際交流センター

開催地：北海道

開催期間：①平成 17 年 8 月 20 日～9 月 3 日

②平成 17 年 8 月 20 日～8 月 28 日

参加者：100 名（うち当財団参加者 10 名）

## 第 28 回研修会

共 催：(財) 共立国際交流奨学財団、(財) オホーツク国際交流センター  
開 催 地：北海道オホーツク地域  
開催期間：平成 17 年 8 月 24 日～29 日（ホームステイ）  
参 加 者：17 名（留学生）

## 第 29 回研修会

共 催：(財) 共立国際交流奨学財団、(財) 北海道国際交流センター  
開 催 地：北海道函館  
開催期間：平成 17 年 12 月 7 日～11 日  
参 加 者：30 名（留学生）

## 第 30 回研修会

①主 催：共立メンテナンス HOTEL&SPA 事業部  
開 催 地：沖縄（本島・伊江島）  
開催期間：平成 18 年 2 月 20 日～2 月 25 日  
参 加 者：44 名（留学生・日本人学生）

②旅行企画・実施：京王観光株式会社  
開 催 地：沖縄（本島・伊江島）  
開 催 期 間：平成 18 年 3 月 13 日～3 月 18 日  
参 加 者：45 名（留学生・日本人学生）

## 2. 国際協力機構（JICA）平成 17 年度青年招へい事業受入

当財団は、国際協力機構より標記事業「中華人民共和国、教育分野、24 名、平成 17 年 5 月 18 日～6 月 9 日」及び「中華人民共和国、教育分野、23 名、平成 17 年 11 月 16 日～12 月 8 日」の実施協力団体として委託を受け、都内プログラム（学校訪問、合宿セミナー等）を担当し実施しました。

## V. 出版事業

1. 財団紹介のパンフレット『財団法人 共立国際交流奨学財団（紹介・情報案内）Vol. 11』、情報誌『アジア文流 Vol. 19』、『同 Vol. 20』、『留学生の就職情報誌「共立・桜」Vol. 8』を出版し、文部科学省、関係機関、奨学財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに配布しました。
2. 日本留学を志す韓国の人に正確な留学情報を提供するため、日本の生活情報と大学情報を内容とした「2006 年度留学生活 i n 日本」を韓国語で出版し、韓国の大学校、高等学校、マスコミ、『2005 年度キャリアアップ日本フェア i n 大韓民国』の参加者及び日本の関係大学等に無料配布しました。

## VI. 生活支援事業

留学生の生活支援を行うため、蕨女子学生会館、武蔵浦和女子学生会館、つつじヶ丘男子学生会館、相模大野学生会館の留学生寮 4 棟の管理・運営を行いました。

また、大学、専門学校（1 校 3 名以内）に提供する「奨学寮」を札幌地区 1 大学、仙台地区 1 大学、東京地区 5 大学・1 専門学校、名古屋地区 1 大学、関西地区 9 大学・1 専門学校に提供しました。

## VII. イベント事業

### 1. 「2005 年度キャリアアップ日本フェア in 上海」の開催

当財団（東京本部・上海委託事務所）主催、日本国駐上海総領事館、上海市普陀区教育局等後援、(株)共立メンテナンス協賛の「2005 年度キャリアアップ日本フェア in 上海」を 2005 年 10 月 5 日・6 日中華人民共和国の上海甘泉外国語中学、上海普陀区青少年センターを会場として開催しました。

#### <開催事業>

##### ①「第 3 回日本語コミュニケーションコンテスト in 上海」

日本の高等教育機関に留学することを希望し、日本語を学んでいる中国の大学生、高校生が対象。

応募者 170 名（高校生 80 名、大学生 90 名）

入賞者 12 名（高校生 5 名、大学生 7 名）入賞者 12 名は「きままな日本旅行 8 日間（2006 年 2 月 6 日～13 日）」に参加し、慶應義塾大学等の学校訪問、箱根小旅行を体験し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

##### ②「キャリアアップ日本の教育機関紹介」

日本留学相談（ブース参加校：桜美林大学、立命館アジア太平洋大学、早稲田大学等 5 校）

日本の教育機関資料を会場で無料配布（資料提供校：お茶の水女子大学、筑波大学、東京大学、東京学芸大学、一橋大学、慶應義塾大学、早稲田大学、関西大学等 31 校）

### 2. 「2005 年度キャリアアップ日本フェア in 大韓民国」の開催

当財団主催、駐大韓民国日本国大使館公報文化院、韓国・日本留学人聯合會等後援（株）共立メンテナンス等協賛の『2005 年度キャリアアップ日本フェア in 大韓民国』を 2005 年 10 月 15 日・16 日、大韓民国ソウル特別市、ロッテホテルを会場として開催しました。

## <開催事業>

### ①「第8回日本語コミュニケーションコンテスト in 大韓民国」

文部科学省等後援、2005年10月15日に日本語能力初級者の予選会・本選会、10月16日に日本語能力上級者の予選会・本選会を実施。応募者135名、入賞者21名。入賞者の20名は2006年1月11日～1月18日に実施した賞品旅行「きままな日本旅行8日間」に参加し、慶應義塾大学・東京製菓専門学校の訪問、箱根小旅行を体験し日本に対する理解を深めました。

### ②「2006年度奨学生現地（大韓民国）選考会」

日本の教育機関（大学院、大学、専門学校、日本語学校）に進学を希望する応募者125名に対し、当財団須郷選考委員長、菊川選考委員が日本語による面接を行い、(財)共立国際交流奨学財団奨学生3名、(株)共立メンテナンス奨学基金奨学生4名を2006年度奨学生候補者として選考しました。

### ③「キャリアアップ日本の教育機関紹介」

- ◆ 会場内にブースを設置し、日本の教育機関担当者による留学相談を行いました。
  - ※ ブース参加校：国士舘大学、立命館アジア太平洋大学、学校法人 加計学園（岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、千葉科学大学）等14校
- ◆ 日本の教育機関資料を会場で無料配布しました。
  - ※ 資料提供校：大阪大学、お茶の水女子大学、慶應義塾大学、上智大学、東京大学、日本大学、早稲田大学、文化服装学院等35校

## 3. 第6回『日本人学生の「アジア体験」コンテスト』の開催

当財団主催、外務省、文部科学省、東京都教育委員会、国際協力機構（JICA）、マレーシア大使館等後援、(株)共立メンテナンス等協賛の標記コンテストを、2005年12月18日、東京セラピストアーツにて開催しました。

応募者は高校生、短大生、大学生計93名、入賞者12名（高校生5名、短大生1名、大学生6名）。入賞者12名は2006年3月26日～4月1日に実施した「アジア体験旅行7日間」（訪問地：マレーシア）に参加し現地セカンドリースクール（中・高一貫校）訪問、JICAの活動について聴講、現地学生との交流、民泊等を通してアジアへの理解を深めました。